



東濃ブロック部会 会員研修会

公立小中学校のカリキュラムを受けた 博物館の教育普及事業の在り方について

学校で使用されている教科書は、社会問題や教育へのニーズを反映して、原則4年ごとに改訂が行われており、令和6年度がその改定のタイミングにあたります。今回の教科書改定は小規模なものようですが、博物館での教育普及事業の実施にあたっては、学習指導要領の内容、また学校のニーズなどを把握しておくことが重要と考えられます。

今回の研修会では、現役の小学校教員等を講師にお招きして、これらの事項についてお話いただくとともに、会員との意見交換の時間を設けて教育普及事業の現状と今後の方向性を考えます。

2024年12月13日（金） 13:30～15:30【受付 13時～】

内 容

講話① 学習指導要領及び教科書の学習内容について 美術館の取り組み
(澤田 恵氏/岐阜県現代陶芸美術館 教育普及担当)

講話② 学校が博物館・美術館へ望むこと
(安藤 隆一氏/瑞浪市立陶小学校 教諭)

座談会 情報交換・質疑応答など

会 場 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
(多治見市東町4丁目2-5 TEL:0572-28-3100)

定 員 20名程度 (先着順)

参加費 無料

申込み・問合せ

瑞浪市陶磁資料館 [担当:砂田]

TEL:0572-67-2506 / FAX:0572-66-1083

e-mail:m-touji@titan.ocn.ne.jp

※mailまたはFAX【12月6日(金)まで】

※申し込みの際は、以下の事項を明記してください。

①氏名、②所属、③連絡先

※参加可の返信を以て、申し込み完了となります。

